

園自己評価結果の公表《 2025 年度 》

バディ保育園では、保育の質の向上を目的として、毎年職員による自己評価を実施しています。今年度も保育内容や園運営について振り返りを行い、今後の保育の改善・充実につなげていきます。本園の自己評価結果の概要について、以下のとおり公表いたします。

実施期間:令和7年12月1日～令和8年1月10日

対象者:保育士 24名、事務 1名

評価基準: a: 十分できている b: おおむねできている c: やや不十分 d: 改善を要する

保育理念・保育観	平均評価:A
子どもの発達	平均評価:B
長時間保育	平均評価:A
障害児保育	平均評価:D
地域社会・関係機関との連携	平均評価:D
保護者支援	平均評価:A
健康・安全	平均評価:B
保育内容	平均評価:B
職員の資質向上	平均評価:B

《総合評価》

本園では、子ども一人ひとりの最善の利益を大切に、安心して過ごせる保育環境づくりに努めています。日々の保育の中では、基本的な養護や安全・健康への配慮を大切にしながら、子どもに寄り添った関わりを心がけてきました。

また、地域の関係機関や小学校との連携、関係機関からの助言を取り入れながら、子どもの育ちを多面的に支える取り組みも進めてきました。園だけで抱えるのではなく、地域とつながりながら子どもの成長を支えていくことの大切さを改めて感じています。

一方で、障害児保育や個別の支援への対応、職員間の連携や業務分担の捉え方については、職員によって感じ方や自信の差が見られる部分もあり、今後さらに共通理解を深めていく必要があると感じています。また、日々の保育の中で振り返りや話し合いの時間が十分に確保できないこともあり、課題を共有しきれていない面も見えてきました。

今回の自己評価を通して、日々の保育の積み重ねの中で子どもたちの育ちを支えていることを改めて確認するとともに、園としての課題も見つめ直す機会となりました。今後も職員同士の学びや連携を大切にしながら、子ども一人ひとりの成長を保護者の皆さまと共に見守り、よりよい保育の充実に努めてまいります。

《来年度の課題》

- ・子どもたちが様々な経験を通して身につけたことや成長した姿を、発表や表現活動などを通して伝える機会をさらに充実させていく。
- ・保育の様子や子どもの育ちについて、保護者により分かりやすく伝えるための情報発信の工夫を行い、家庭との連携をより深めていく。
- ・障害児保育や個別の支援を必要とする子どもへの理解を深めるため、研修への参加や職員間での情報共有を進め、園全体で共通理解を持った支援体制の充実を図る。
- ・職員一人ひとりが保育を振り返り学び合う機会を大切に、園内研修や話し合いを通して保育の質の向上に取り組んでいく。